

【多治見コース】事前課題について

1. 多治見コーステーマ

多治見市の産業・観光振興とタイル産業の将来

多治見市は、日本一のタイルの街。タイルは、建物の外壁からかわいらしい雑貨まで、とても身近な存在です。多治見市全面協力のもと、ミュージアムや企業の見学を通して、産業振興や観光の可能性を考えましょう！

2. 課題の背景・目的

岐阜県多治見市では、近年、「産業・観光振興計画」のもと、①交通の便を活かした企業誘致、②ビジネス・フェアの開催などによる産業・起業支援および③地域資源を活用した産業観光まちづくりなどの面でさまざまな成果を残していますが、その一方で、地域の基幹産業である「タイル産業」はその将来を見通すことができない現状があります。しかし、そうしたなかでも、2016年6月には、多治見市笠原地区に「モザイクタイルミュージアム」がオープンし、タイル業界における新製品開発や販路拡大、あるいは産業観光向け資源の開発などの起爆剤となることが期待されていて、これを機に地場産業としてのタイル産業の可能性について見直すことが産業・観光振興の大きな課題となっています。

3. 課題の内容

岐阜県多治見市を舞台に、産業支援・産業観光・企業誘致などで構成された地域の産業・観光振興計画ならびにタイル業界の現状を踏まえて、地場産業としてのタイル産業の将来について学生の視点で構想します。前半の施設見学や講義研修などから、学生自身に課題を発見してもらい、グループ討議を通してその解決の方向やそのための具体策について考え出してもらうことを基本としますが、想定される課題テーマは、以下の通りです。

【課題テーマ例】

- (1) タイル産業の高付加価値化・生き残り戦略
- (2) タイル産業の基盤を生かした新製品・新産業創出戦略
- (3) タイル業界による「モザイクタイルミュージアム」の活用策
- (4) 「モザイクタイルミュージアム」の集客力アップ策
- (5) 「タイル」を生かした新たな産業観光振興戦略

※課題テーマは、サマースクール開始後にチーム毎で設定します。

※上記以外の課題テーマを設定することも可能です。

参考資料／ホームページ一覧

- ・多治見コースの課題テーマを設定する際に参考となる資料、ホームページを共有します。
- ・サマースクールで実際に見学する施設、企業のホームページを掲載しています。
- ・多治見市の現状と課題について、事前に把握してください。

《参考資料》 必ず確認してください

▽多治見市産業・観光振興計画 2016-2019

<http://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/shingikai/sangyokanko/shinko/documents/sangyoukannkousinnkoukeikaku.pdf>

▽多治見市第7次総合計画策定討議課題集【完全版】

http://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/shisaku/dai7jisogo/documents/tougikadaishuu_kanseiban_1.pdf

※「政策分野別の成果と課題 産業・経済」(p.32～)を特に確認してください。

《訪問する施設、企業のHP》

▽モザイクタイルミュージアム

<http://www.mosaictile-museum.jp/>

▽株式会社オザワモザイクタイルワークス

<http://omw.co.jp/>

▽杉浦製陶株式会社

<http://sugy.jp/>

▽モザイク美鈴

<http://misuzuart.jp/>

▽幸兵衛窯

<http://www.koubei-gama.co.jp/>

▽市之倉さかづき美術館

<http://www.sakazuki.or.jp/>

▽本町オリベストリート

<http://www.oribe-street.com/>